

未来への軌跡

～新・24の瞳～

平成 28 年 8 月 1 日発行 NO5

津島校は、例年より少し早く休校前最後の夏休みに入りました。夏休みに入ったものの、学校内は夏休み前よりも慌ただしい日が続いています。生徒の皆さんの進路活動が本格的に動き始め、学校外との関わりが普段の何十倍です。これまで校外活動は、必ず引率者がいたと思いますが、職場見学は終始一人です。不安ですよ。けれども、それが「自立」の一步だと、その不安をかみしめ受け止めて欲しいと思います。先月号の、「困難に直面することを教えられなかった子どもは、あらゆる困難を避けようとする」は、なるほどなあと思いました。

みなさんの不安と緊張がこちらまで伝わる“進路”の動きに、久しぶりにふと昔のことを思い出しました。

○年前の高校生の私は、英語が得意な友達を羨ましがり、数学が得意な友達の脳と交換できたらいいのにと現実逃避したり、「夏を制



するものが受験を制す！」などと言って次々課題を課す先生方を見て「各教科の先生がそれぞれの科目を代わりに受験してくれたら最強なのは？」と無茶苦茶なことを考えてみたり…

「なぜこんなに辛い思いをしているのだろう…」「自分の希望を叶えたいからでしょ？誰のためでもない。嫌なら他の道もあるでしょ」「…。希望は叶えたい。でも辛い」「諦めるのと今突き進むのと、どちらにしても辛いなら、どっちの辛いを選ぶ？」「今はまだ、何の結果も出ていない“途中”。結果が出るまでは自分次第で結果は変えられる」「ならば苦しんで苦しんでその先にあるものをみたい」「やるしかないじゃん」という自問自答を、何度繰り返したことでしょうか。結果的に第一希望は叶わなかったけれど、あの期間に培った忍耐力が、何年かかるか先の見えない就職試験の数年間とその後の私を支えていると断言できます。生徒の皆さんも、今が正念場です！

あの期間に出会い、今もふと口ずさむ歌があります。Mr.Childrenの『終わりなき旅』です。一部紹介します。

～ 息を切らしてさ 駆け抜けた道を振り返りはしないのさ ただ未来だけを見据えながら 放つ願い
難しく考え出すと結局全てが嫌になって そっとそっと逃げ出したくなるけど
高ければ高い壁の方が登ったとき気持ちいいもんな まだ限界だなんて認めちゃいないさ
閉ざされたドアの向こうに 新しい何かが待っていて きっときって 君を動かしてる
いいことばかりでは無いさ でも次の扉をノックしよう もっと素晴らしいはずの自分を探して
胸に抱え込んだ迷いが プラスの力に変わるように いつも今日だって僕らは動いてる
嫌な事ばかりではないさ さあ次の扉をノックしよう もっと大きなはずの自分を探す 終わりなき旅 ～



みなさんが、踏ん張れる人でありますように。みなさんの踏ん張りの先に、希望が叶いますように。
不安になったら、保護者が、教員がいることを忘れないでくださいね。

いろいろと思いめぐらすうちに、ふとAKB48の『365日の紙飛行機』
のフレーズが浮かびました。

～その距離を競うより どう飛んだか どこを飛んだのか

それが一番大切なんだ さあ心のままに～



<主な行事>

3日(水)	登校日(12:15までに登校) 進路用写真撮影、面接セミナーⅡ
22日(月)	第2学期始業式
23日(火)	課題テスト
26日(金)	薬物乱用防止教室⑥